

1月・2月も役立つ講座がいろいろ!

子育てリフレッシュサロン

◆1月9日(木) 10:00~11:30
 場所: 参画センター学習研修室3
 参加費: 無料
 託児: あり、無料(1週間前までに要予約)



シングルマザーの会

◆1月13日(月・祝) 13:30~15:00
 場所: 参画センター学習研修室3
 参加費: 無料
 託児: あり、無料(1週間前までに要予約)



摂食障がい家族の会

◆1月18日(土) 13:30~15:00
 場所: 参画センター相談室
 参加費: 無料



男女共同参画のキーワード

(女性への暴力の根絶を訴えるパープルリボン)

パープルリボン(英: purple ribbon)は、女性への暴力の根絶や、臓器がんの啓発と撲滅をはじめとする、社会や医療の各分野で用いられるアウェアネス・リボンです。

パープルリボンは1994年2月、アメリカ合衆国ニューハンプシャー州のベルリンで、大人のレイプや虐待のサバイバー、医療専門家、セラピスト、法律関係者、関心を持つ市民らによって結成された、インターナショナル・パープルリボン・プロジェクト(IPRP)から始まりました。現在、40か国以上の国際的な草の根運動のネットワークになっています。

2000年にアジア女性センターがパープルリボンを持ち帰り、女性への暴力根絶キャンペーンを日本に紹介しました。現在ではNPO法人全国女性シェルターネットワークが中心となり、パープルリボン活動を展開しています。活動の一例として、2009年11月25日(女性に対する暴力撤廃国際日)の夜に行われた、東京タワーの紫色光でのライトアップがあり、今も続けられています。

NPO法人たかまつ男女共同参画ネットワークでも、市民の方から寄付を頂き、DVで逃げて来られた方の生活に必要なものを買う支援金として役立てています。



高松市男女共同参画センターのパープルBOX

女性のための就労支援講座

「仕事と家庭の両立を考える」
 ◆1月20日(月) 10:30~12:00
 講師: 森井 久美子
 (キャリアコンサルタント、参画センター相談員)
 参加費: 無料 定員: 10人程
 託児: あり、無料、1週間前までに要予約



だれもがいきいき参画講座

「アメリカのロードトリップ文化」
 ◆2月9日(日) 13:30~15:30
 講師: チャンヤン・パークさん(知事公室国際課勤務)
 参加費: 無料 定員: 50人
 託児: あり、無料、1週間前までに要予約
 企画運営: 香川 SGG(香川善意通訳の会)



知ってる?



< 文部科学省 > パープル・リボン勉強会を実施しました。
 国立女性教育会館(NWEC)では、毎年、「女性に対する暴力をなくす運動」の啓発活動として、本館のパープル・ライトアップや横断幕の設置、パープル・リボン運動パネルの設置等を実施してきました。
 今年は、新たな試みとして、リボンの配布やパネルの作成などのパープル・リボン運動に取り組んできたNWECボランティアの皆さんと一緒に、これまでの運動を振り返る勉強会を実施しました。勉強会では、改めて運動の意義を理解するとともに、ボランティアの皆さんが運動の参考のために男女共同参画センターに館外学習に行ったことや議論を重ねて工夫してきたことを振り返りながら、運動への思いや今後の展望を語り合いました。



パープル・リボン運動パネル



パープル・リボン勉強会

詳細は、こちらをご覧ください。
https://www.nwec.go.jp/event/training/g_soudan2024.html



(資料: 内閣府 共同参画12月号)

11・12月の行事から

市民フェスティバル・講演会・パネル展・映画・ワークショップ

11~12/1

市民フェスティバルの講演会・パネル展・映画・ワークショップが11月17日~12月1日まで開催されました。
(山根世世さん講演会の感想)
 「大変参考になりました。若い時の苦労は買ってでもしなさい。と聞かされていましたが、その通りだと思いました」「人としての尊厳を大切にすることで、差別が無くなる。志が自分の祈りになった時に、本当の志になるという事を学びました」「実体験から出た言葉の力を学んだ」「心を大切にすること、それが平等を実現するのだと思いました」「自分の言葉で思いを伝えていきたいと思いました」等多数。
(パネル展の感想)
 「毎年中身が充実し、カラフルで楽しく観れるようになっていました」「毎年各団体が特色を生かして素晴らしい展示が多い」「色々な団体が色々な活動をしているのを見て、元気が湧いてきました」
(映画・ワークショップの感想) *一部のみ掲載
 「パラリンピックの動画初めて観ましたが、良かったです。講演はとても楽しく、聞いたことのないお話もあり、良かったです(手話サークルひびき)」「お芝居が新鮮で、幅広い世代が観て良い内容でした(自由席)



12/12

さんかく交流サロン 紙粘土で干支の巳の置物を作ろう

場所: 学習研修室2 参加者: 9人
 講師: 川村 真利子さん(紙粘土作家)
 来年に向け、巳は蛇なので、できるだけ可愛いと思えるような置物を先生に工夫して頂き、楽しく作りました。
(参加者の感想)
 「わきあいあいと楽しかったです。作品も意外と、とっても可愛くてお正月飾りにするのが楽しみです」「とても楽しくて、集中して手を動かす時間がとても良かったです」等



12/13

高松いきいきまちづくり講座 親にも子どもにも やさしい居場所づくり

場所: 学習研修室3 参加者: 7人
 講師: 中橋 恵美子さん(認定NPO法人わははネット代表・讃岐おもちゃ美術館館長)
 わははネットは、親子の居場所を作り、孤独な育児を解消したいという思いで作ったが、まだまだ増やしたい。
(参加者の感想)
 「"わはは広場"の話がとても胸に響きました。心の拠り所になれるような人でありたいと思った」「自分も何か始めたいと思った」



トピックス

令和6年度

ハンセン病を正しく理解する講演会

全国に13あるハンセン病国立療養所の中で唯一の離島である大島青松園より、講師を招いて、講演会を開催します。

◆とき 2025年1月16日(木)
 14:00~16:00 *開場 13:30

◆講師: 岡野 美子氏(国立療養所大島青松園 園長)
 テーマ: ハンセン病の現状について
 ◆講師: 森 和男氏(大島青松園入所者自治会 会長)
 テーマ: ハンセン病療養所の今
 ◆講師: 都谷 禎子氏(国立療養所大島青松園 社会交流館 学芸員)
 テーマ: 隔離と子どもたち~児童作品から振り返る子どもたちの療養所生活~

今後のおすすめ講座!

高松シンポルタワー・ホール棟4階
 ◆定員: 先着200人
 (定員になり次第締め切ります)
 ◆参加費: 無料 *手話通訳あり
 ◆締切: 1月9日(木)
 ◆申込み・問い合わせ先: 高松市 人権・男女共同参画推進課
 ◆申込み方法: ①TEL 087-839-2292
 ②FAX 080-839-2291
 ③Eメール keihatsu@city.takamatsu.ig.jp
 ④WEB QRコード

